

令和2年度(2020年度)道民経済計算年報の概要

令和5年(2023年)10月
北海道経済部経済企画局経済企画課

ポイント

全道の状況

・経済成長率

令和2年度の本道経済は名目・実質ともにマイナス成長、実質で2年連続マイナス成長となった。

名目 4.1% (全国 3.5%)

実質 5.2% (全国 4.1%)

・道内総生産(生産側)

道内総生産(名目) 19兆7,256億円(対前年度 8,361億円)

・道民所得

1人当たり道民所得 268万2千円(前年度比 5.9%、16万9千円)

1人当たり国民所得 297万5千円(前年度比 6.4%、20万2千円)

振興局別の状況

総生産は石狩振興局がトップ、1人当たりの総生産は根室振興局がトップ

・振興局別総生産(上位5振興局)

石狩 9兆1,624億円 胆振 1兆7,093億円 上川 1兆6,223億円

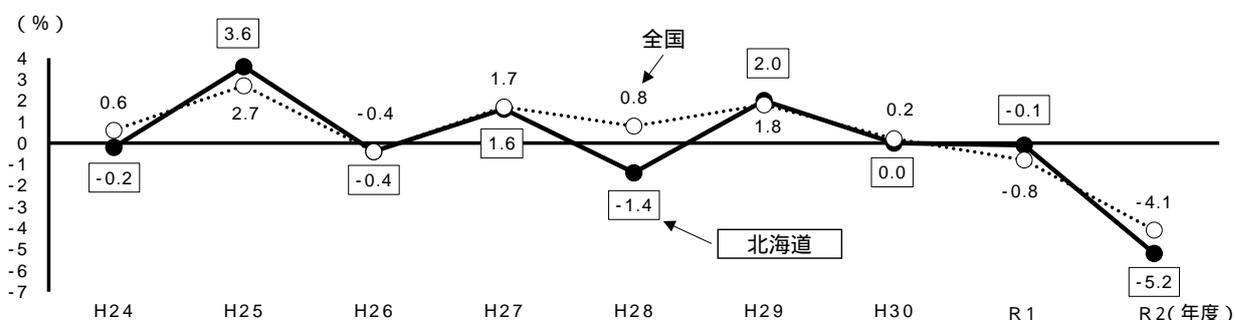
十勝 1兆3,211億円 渡島 1兆2,584億円

・人口1人当たり総生産(上位5振興局)

根室 5,024千円 胆振 4,470千円 宗谷 4,442千円

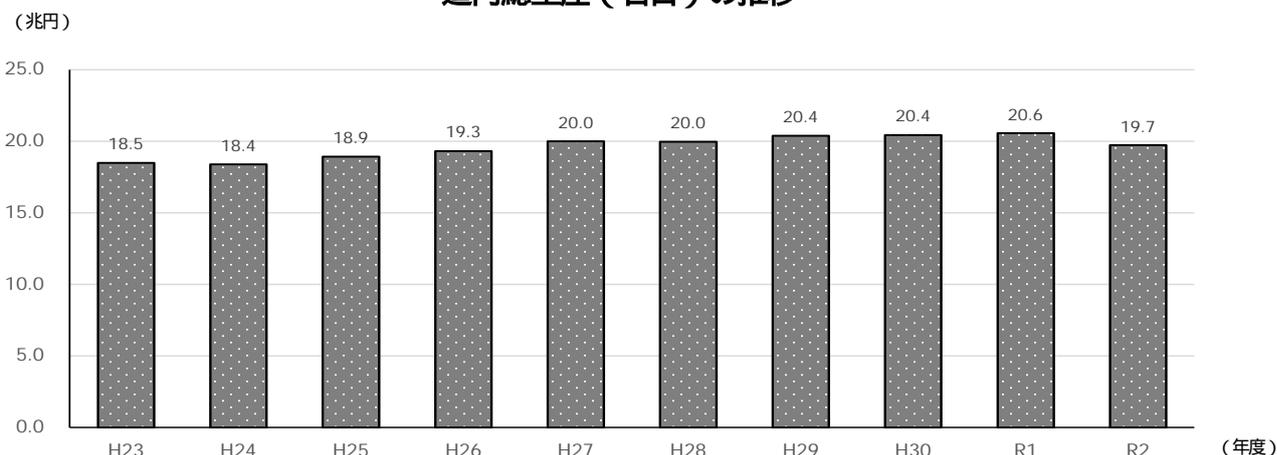
十勝 3,972千円 日高 3,839千円

経済成長率(実質)の推移



(注) 経済成長率は、道内・国内総生産の対前年度増加率

道内総生産(名目)の推移



1 道内総生産（生産側）

- ・第1次産業は、農業、林業、水産業のすべてで減少し、全体では3.5%のマイナス。
- ・第2次産業は、建設業が2.1%減少したが、製造業が2.1%増加したことなどから、全体では0.1%のプラス。
- ・第3次産業は、電気・ガス・水道・廃棄物処理業が4.8%などと増加したが、宿泊・飲食サービス業が42.1%減少、運輸・郵便業が19.1%減少したことなどから、全体では4.9%のマイナス。

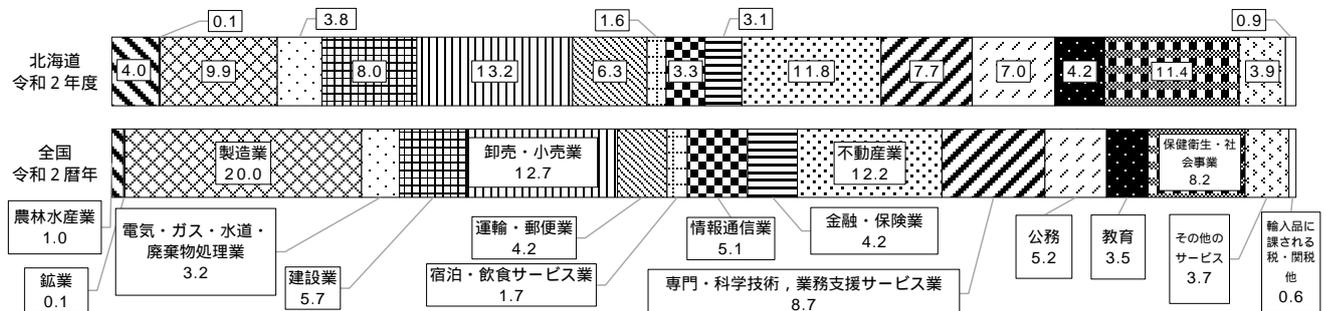
道内総生産（生産側 名目）

項目 / 年度	実数		対前年度増加率		構成比		増加寄与度	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020
1. 農林水産業	8,098	7,814	0.3	-3.5	3.9	4.0	0.0	-0.1
(1) 農業	6,357	6,208	4.8	-2.3	3.1	3.1	0.1	-0.1
(2) 林業	253	230	-2.1	-9.0	0.1	0.1	-0.0	-0.0
(3) 水産業	1,488	1,376	-14.9	-7.5	0.7	0.7	-0.1	-0.1
2. 鉱業	272	275	-1.9	0.9	0.1	0.1	-0.0	0.0
3. 製造業	19,059	19,452	-3.1	2.1	9.3	9.9	-0.3	0.2
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	7,154	7,495	0.8	4.8	3.5	3.8	0.0	0.2
5. 建設業	16,146	15,804	13.8	-2.1	7.9	8.0	1.0	-0.2
6. 卸売・小売業	27,697	26,117	-2.3	-5.7	13.5	13.2	-0.3	-0.8
7. 運輸・郵便業	15,292	12,368	-0.6	-19.1	7.4	6.3	-0.0	-1.4
8. 宿泊・飲食サービス業	5,287	3,059	-6.7	-42.1	2.6	1.6	-0.2	-1.1
9. 情報通信業	6,420	6,533	-1.7	1.8	3.1	3.3	-0.1	0.1
10. 金融・保険業	6,504	6,140	0.7	-5.6	3.2	3.1	0.0	-0.2
11. 不動産業	22,917	23,212	1.1	1.3	11.1	11.8	0.1	0.1
12. 専門・科学技術、業務支援サービス業	15,285	15,242	1.0	-0.3	7.4	7.7	0.1	-0.0
13. 公務	14,290	13,825	0.9	-3.3	7.0	7.0	0.1	-0.2
14. 教育	8,261	8,238	0.7	-0.3	4.0	4.2	0.0	-0.0
15. 保健衛生・社会事業	22,586	22,443	2.6	-0.6	11.0	11.4	0.3	-0.1
16. その他のサービス	8,452	7,605	0.3	-10.0	4.1	3.9	0.0	-0.4
17. 小計	203,720	195,623	0.7	-4.0	99.1	99.2	0.7	-3.9
18. 輸入品に課される税・関税	3,545	3,465	-0.4	-2.3	1.7	1.8	-0.0	-0.0
19. (控除)総資本形成に係る消費税	1,648	1,831	9.1	11.1	0.8	0.9	0.1	0.1
20. 道内総生産(17+18-19)	205,617	197,256	0.6	-4.1	100.0	100.0	0.6	-4.1
(再掲) 第1次産業	8,098	7,814	0.3	-3.5	3.9	4.0	0.0	-0.1
第2次産業	35,477	35,530	4.0	0.1	17.3	18.0	0.7	0.0
第3次産業	160,146	152,279	0.0	-4.9	77.9	77.2	0.0	-3.8
(参考) 道内総生産(実質:2015暦年(平成27暦年)連鎖価格)	200,916	190,524	-0.1	-5.2				

(注)増加寄与度 = (経済活動別の当年度総生産 - 前年度総生産) ÷ 前年度道内総生産 × 100

・経済活動別総生産の構成比について全国と比較すると、農林水産業4.0%（全国1.0%）、建設業8.0%（同5.7%）、公務7.0%（同5.2%）などが全国に比べて高く、製造業9.9%（同20.0%）、情報通信業3.3%（同5.1%）、専門・科学技術、業務支援サービス業7.7%（同8.7%）などが全国に比べて低くなっている。

道（国）内総生産の経済活動別構成比（%）



(注) 輸入品に課される税・関税他は「輸入品に課される税・関税（控除）総資本形成に係る消費税」全国にあつては統計上の不具合を含む

2 道民所得

- ・雇用者報酬が 1.2%、財産所得が 4.6%、企業所得が 22.5%減少したことから、合計の道民所得は 6.6%のマイナス。
- ・1人当たり道民所得は、268 万 2 千円と前年度に比べ 16 万 9 千円(5.9%)減少した。全国(297 万 5 千円)との差は、令和元年度の 32 万 6 千円(対全国比 89.7%)から 29 万 3 千円(同 90.2%)に縮小した。

道民所得

(単位：億円、%)

項目 / 年度	実数		対前年度増加率		構成比	
	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和元年度 2019	令和2年度 2020
1 雇用者報酬	106,148	104,889	3.2	-1.2	70.8	74.9
(1) 賃金・俸給	90,357	89,285	3.3	-1.2	60.3	63.7
(2) 雇主の社会負担	15,791	15,604	2.4	-1.2	10.5	11.1
2 財産所得(非企業部門)	7,188	6,856	-4.2	-4.6	4.8	4.9
(1) 一般政府	51	23	2,239.6	-55.7	0.0	0.0
(2) 家計	6,999	6,697	-4.9	-4.3	4.7	4.8
(3) 対家計民間非営利団体	137	136	-9.6	-0.5	0.1	0.1
3 企業所得(企業部門の第1次所得バランス)	36,621	28,370	-3.4	-22.5	24.4	20.2
(1) 民間法人企業	21,403	14,095	-6.4	-34.1	14.3	10.1
(2) 公的企業	-48	-774	-135.6	-1,502.3	-0.0	-0.6
(3) 個人企業	15,266	15,049	2.4	-1.4	10.2	10.7
4 道民所得(1+2+3)	149,956	140,115	1.1	-6.6	100.0	100.0

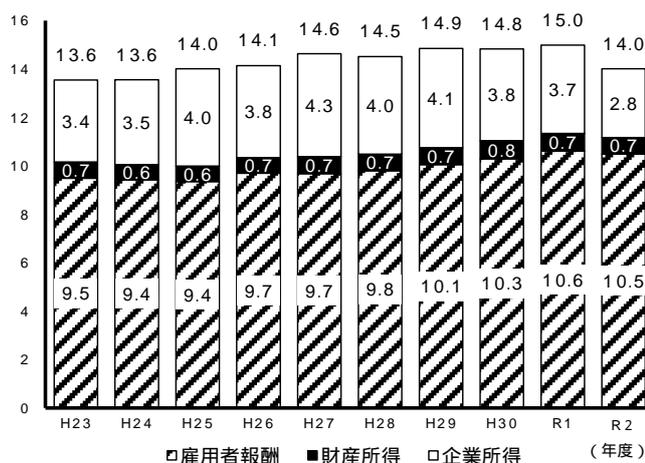
1人当たり道民・国民所得の推移

(単位：千円、%)

区分	平成23年度 2011	平成24年度 2012	平成25年度 2013	平成26年度 2014	平成27年度 2015	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020
北海道	2,470	2,481	2,576	2,615	2,719	2,710	2,790	2,802	2,851	2,682
全国	2,798	2,808	2,925	2,961	3,089	3,089	3,157	3,181	3,177	2,975
対全国比	88.3	88.4	88.1	88.3	88.0	87.7	88.4	88.1	89.7	90.2

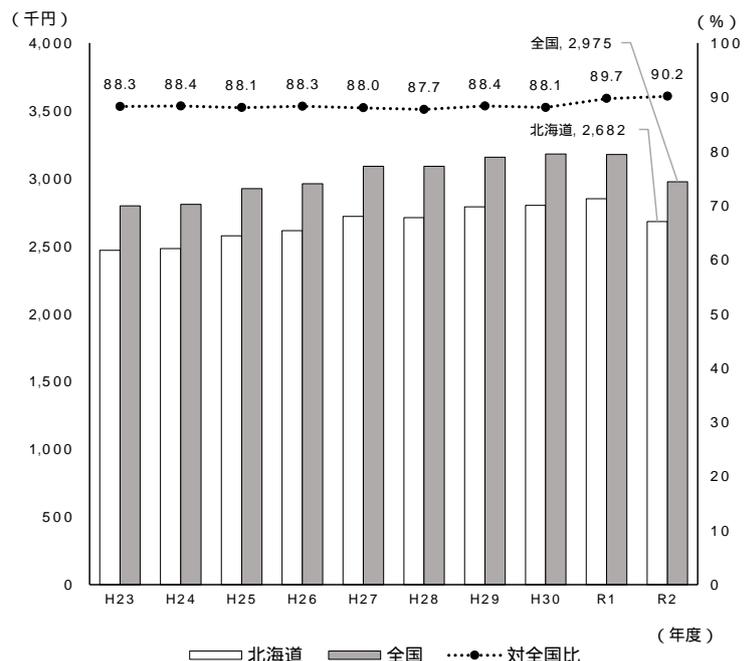
道民所得の推移

(兆円)



1人当たり道(国)民所得の推移

(千円)



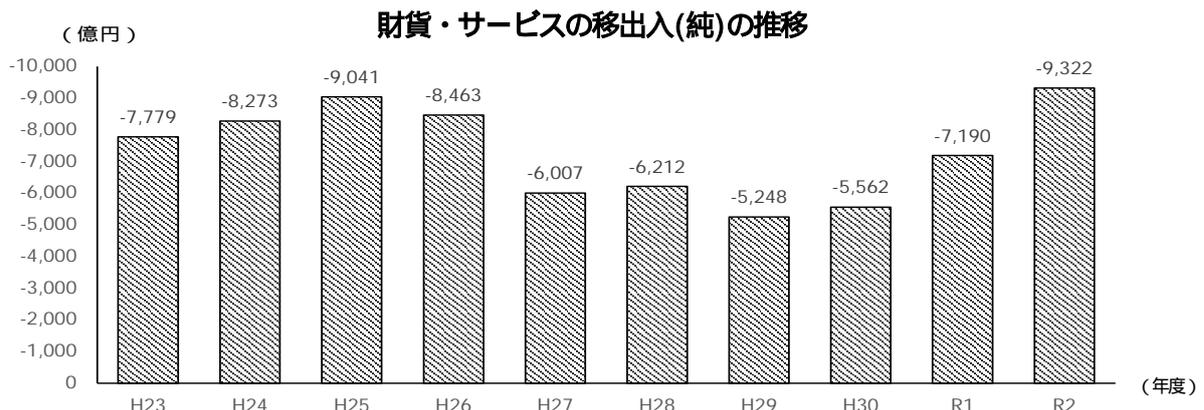
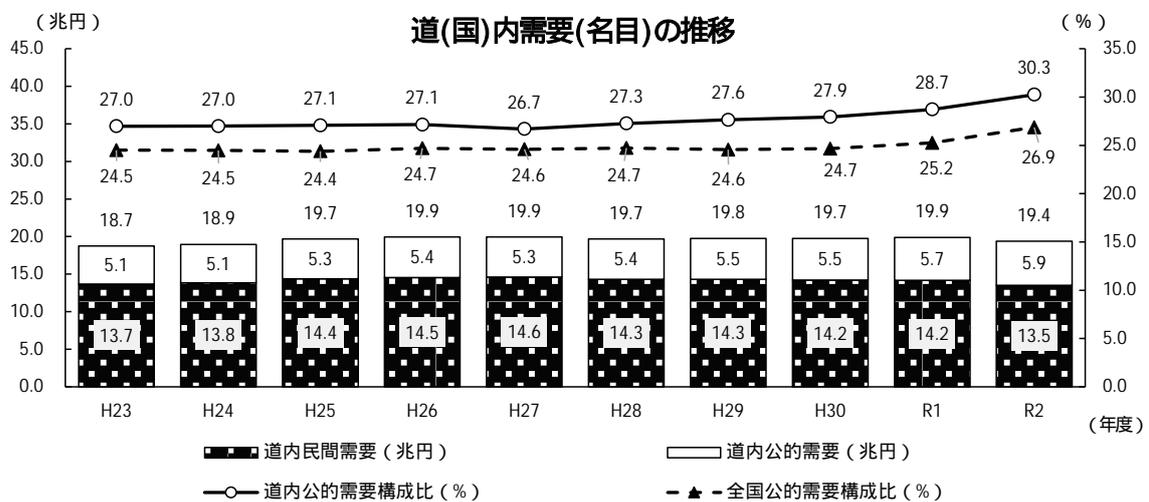
3 道内総生産（支出側）

- ・民間需要は、家計最終消費支出の減少により、4.7%のマイナス。
 - ・公的需要は、地方政府等最終消費支出や公的総固定資本形成の増加などにより、2.6%のプラス。
- 公的需要の割合は、前年度から1.6ポイント上昇して30.3%となり、全国（26.9%）に比べて3.4ポイント高くなっている。

道内総生産（支出側 名目）

項目 / 年度	実数		対前年度増加率		構成比		増加寄与度		(参考)全国構成比	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020
1. 民間最終消費支出	118,222	112,655	-1.4	-4.7	57.5	57.1	-0.8	-2.7	54.6	53.7
(1) 家計最終消費支出	115,597	109,527	-1.6	-5.3	56.2	55.5	-0.9	-3.0	53.2	52.1
(2) 対家計民間非営利団体最終消費支出	2,626	3,128	11.8	19.1	1.3	1.6	0.1	0.2	1.3	1.6
2. 地方政府等最終消費支出（政府最終消費支出）	39,975	40,287	1.3	0.8	19.4	20.4	0.2	0.2	20.1	21.2
3. 道内総資本形成	40,780	40,782	7.2	0.0	19.8	20.7	1.3	0.0	25.7	25.2
(1) 総固定資本形成	40,584	40,877	8.1	0.7	19.7	20.7	1.5	0.1	25.6	25.4
a 民間	23,427	22,570	7.0	-3.7	11.4	11.4	0.8	-0.4	20.3	19.7
(a) 住宅	7,551	7,190	14.8	-4.8	3.7	3.6	0.5	-0.2	3.8	3.7
(b) 企業設備	15,876	15,380	3.7	-3.1	7.7	7.8	0.3	-0.2	16.5	16.0
b 公的	17,157	18,307	9.5	6.7	8.3	9.3	0.7	0.6	5.3	5.7
(a) 住宅	520	546	-2.0	5.0	0.3	0.3	-0.0	0.0	0.1	0.1
(b) 企業設備	2,955	3,241	9.2	9.7	1.4	1.6	0.1	0.1	1.2	1.3
(c) 一般政府	13,682	14,520	10.1	6.1	6.7	7.4	0.6	0.4	4.0	4.4
(2) 在庫変動	196	-94	-59.5	-148.1	0.1	-0.0	-0.1	-0.1	0.2	-0.2
a 民間企業	186	-116	-61.1	-162.1	0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.2	-0.2
b 公的(公的企業・一般政府)	10	21	76.0	113.9	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0
4. 財貨・サービスの移出入（純）・統計上の不突合	6,639	3,532	-4.1	-46.8	3.2	1.8	-0.1	-1.5	-0.4	-0.1
(1) 財貨・サービスの移出入（純）	-7,190	-9,322	-29.3	-29.7	-3.5	-4.7	-0.8	-1.0	-0.4	-0.1
(2) 統計上の不突合	13,829	12,855	10.8	-7.0	6.7	6.5	0.7	-0.5	-	-
5. 道（国）内総生産（支出側）（1+2+3+4）	205,617	197,256	0.6	-4.1	100.0	100.0	0.6	-4.1	100.0	100.0
(再掲) 民間需要	141,836	135,109	-0.3	-4.7	71.3	69.7	-0.2	-3.3	74.8	73.1
公的需要	57,142	58,615	3.6	2.6	28.7	30.3	1.0	0.7	25.2	26.9
道(国)内需要	198,978	193,724	0.8	-2.6	100.0	100.0	0.8	-2.6	100.0	100.0

(注) 民間需要 民間最終消費支出 + 民間総固定資本形成 + 民間在庫変動 公的需要 地方政府等最終消費支出 + 公的総固定資本形成 + 公的在庫変動



(2) 経済活動別総生産

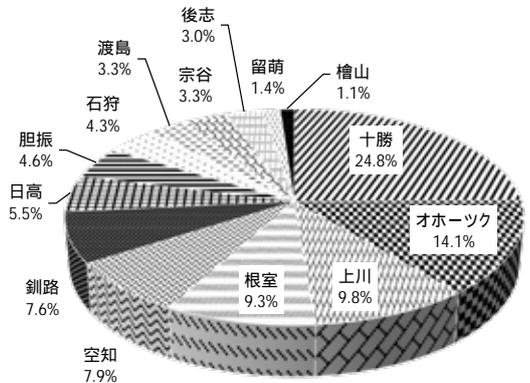
農業

- 振興局別にみると、十勝が1,540億円で最も多く、全体の24.8%を占め、次いでオホーツク876億円、上川608億円、根室576億円、空知491億円と上位5振興局で4,091億円、全道の65.9%を占めた。
- 全道増加率(2.3%)に対する寄与度をみると、日高(0.3%)、渡島(0.2%)、釧路(0.2%)など4振興局でプラスとなり、上川(1.0%)、オホーツク(0.7%)、空知(0.7%)など10振興局でマイナスとなった。

農業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R2 (2020) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020		R1 2019	R2 2020	R1 2019	R2 2020
空知	517	616	523	539	491	7.9	3.0	-8.8	0.3	-0.7
石狩	240	270	249	265	265	4.3	6.8	-0.3	0.3	-0.0
後志	215	228	214	197	186	3.0	-7.9	-5.4	-0.3	-0.2
胆振	281	293	262	283	286	4.6	7.9	1.2	0.3	0.1
日高	291	320	302	323	342	5.5	7.2	5.8	0.4	0.3
渡島	171	183	182	190	205	3.3	4.4	7.5	0.1	0.2
檜山	78	86	75	75	70	1.1	-0.0	-6.8	-0.0	-0.1
上川	649	719	614	670	608	9.8	9.0	-9.2	0.9	-1.0
留萌	91	94	83	89	89	1.4	7.8	-0.0	0.1	-0.0
宗谷	188	199	183	207	202	3.3	13.0	-2.3	0.4	-0.1
オホーツク	906	947	919	924	876	14.1	0.4	-5.1	0.1	-0.7
十勝	1,373	1,639	1,543	1,558	1,540	24.8	1.0	-1.2	0.3	-0.3
釧路	402	434	406	459	471	7.6	13.1	2.5	0.9	0.2
根室	494	544	512	577	576	9.3	12.7	-0.1	1.1	-0.0
全道	5,894	6,572	6,067	6,357	6,208	100.0	4.8	-2.3	4.8	-2.3

農業の全道シェア(令和2年度)



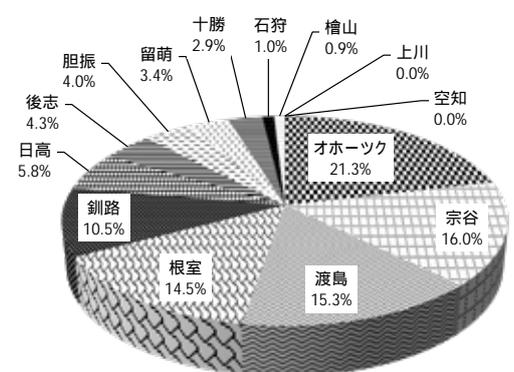
水産業

- 振興局別にみると、オホーツクが293億円で最も多く、全体の21.3%を占め、次いで宗谷220億円、渡島211億円、根室200億円、釧路144億円と上位5振興局で1,068億円、全道の77.6%を占めた。
- 全道増加率(7.5%)に対する寄与度をみると、渡島(0.8%)、釧路(0.5%)など6振興局でプラスとなり、宗谷(4.7%)、根室(2.9%)、オホーツク(1.6%)など7振興局でマイナスとなった。

水産業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R2 (2020) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020		R1 2019	R2 2020	R1 2019	R2 2020
空知	0	0	0	0	0	0.0	-100.0	-	-0.0	-
石狩	12	17	11	9	14	1.0	-20.9	54.9	-0.1	0.3
後志	61	73	64	63	59	4.3	-1.4	-6.7	-0.0	-0.3
胆振	102	102	85	59	56	4.0	-31.4	-5.2	-1.5	-0.2
日高	93	91	99	80	80	5.8	-18.9	0.4	-1.1	0.0
渡島	354	308	296	199	211	15.3	-32.9	6.0	-5.6	0.8
檜山	20	18	16	14	12	0.9	-11.0	-13.3	-0.1	-0.1
上川	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-0.0
留萌	57	72	57	43	47	3.4	-24.6	8.2	-0.8	0.2
宗谷	294	306	308	290	220	16.0	-6.0	-23.9	-1.1	-4.7
オホーツク	375	417	366	317	293	21.3	-10.7	-7.6	-2.2	-1.6
十勝	40	37	35	34	39	2.9	-3.7	15.7	-0.1	0.4
釧路	161	156	149	138	144	10.5	-7.6	4.9	-0.6	0.5
根室	306	269	273	242	200	14.5	-11.1	-17.5	-1.7	-2.9
全道	1,875	1,865	1,749	1,488	1,376	100.0	-14.9	-7.5	-14.9	-7.5

水産業の全道シェア(令和2年度)



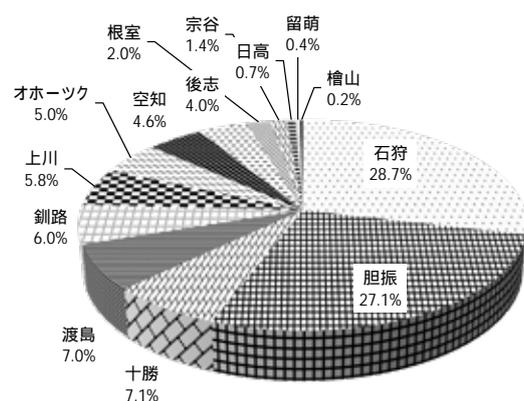
製造業

- 振興局別にみると、石狩が5,582億円で最も多く、全体の28.7%を占め、次いで胆振が5,267億円、十勝1,382億円、渡島1,357億円、釧路1,165億円と上位5振興局では1兆4,753億円、全体の75.8%を占めた。
- 全道増加率(2.1%)に対する寄与度をみると、胆振(1.9%)、渡島(1.0%)、日高(0.4%)など8振興局でプラスとなり、上川(0.6%)、空知(0.4%)など6振興局でマイナスとなった。

製造業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R2 (2020) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020		R1 2019	R2 2020	R1 2019	R2 2020
空知	1,013	1,011	1,014	977	895	4.6	-3.6	-8.4	-0.2	-0.4
石狩	5,515	5,471	5,598	5,576	5,582	28.7	-0.4	0.1	-0.1	0.0
後志	798	815	834	814	787	4.0	-2.4	-3.4	-0.1	-0.1
胆振	4,779	4,732	5,338	4,896	5,267	27.1	-8.3	7.6	-2.2	1.9
日高	78	80	85	65	132	0.7	-23.4	103.3	-0.1	0.4
渡島	1,118	1,194	1,209	1,159	1,357	7.0	-4.1	17.1	-0.3	1.0
檜山	47	48	51	38	39	0.2	-25.8	3.1	-0.1	0.0
上川	1,099	1,149	1,163	1,230	1,122	5.8	5.8	-8.8	0.3	-0.6
留萌	81	81	77	78	82	0.4	0.9	5.0	0.0	0.0
宗谷	256	254	220	307	266	1.4	39.8	-13.5	0.4	-0.2
オホーツク	1,341	1,233	1,006	966	979	5.0	-3.9	1.3	-0.2	0.1
十勝	1,537	1,451	1,588	1,377	1,382	7.1	-13.3	0.4	-1.1	0.0
釧路	1,059	1,040	1,098	1,169	1,165	6.0	6.5	-0.3	0.4	-0.0
根室	411	350	379	406	397	2.0	7.1	-2.2	0.1	-0.0
全道	19,131	18,908	19,660	19,059	19,452	100.0	-3.1	2.1	-3.1	2.1

製造業の全道シェア(令和2年度)



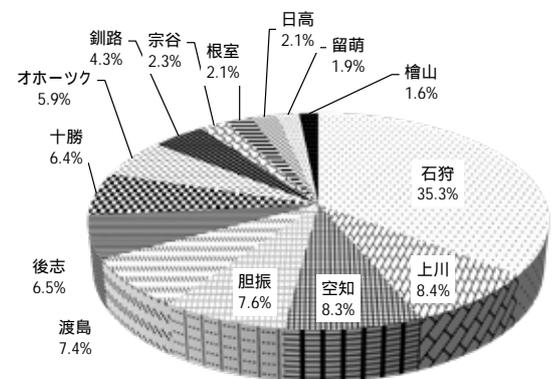
建設業

- 振興局別にみると、石狩が5,581億円で最も多く、全体の35.3%を占め、次いで上川1,325億円、空知1,316億円、胆振1,201億円、渡島1,169億円と上位5振興局で1兆592億円、全体の67.0%を占めた。
- 全道増加率（2.1%）に対する寄与度をみると、後志（0.9%）、オホーツク（0.5%）など7振興局でプラスとなり、胆振（1.6%）、石狩（1.3%）、十勝（0.9%）など7振興局でマイナスとなった。

建設業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R2 (2020) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020		R1 2019	R2 2020	R1 2019	R2 2020
	空知	1,120	1,276	1,145	1,292		1,316	8.3	12.9	1.8
石狩	4,969	5,390	4,887	5,796	5,581	35.3	18.6	-3.7	6.4	-1.3
後志	771	820	876	876	1,020	6.5	-0.0	16.5	-0.0	0.9
胆振	1,094	1,033	1,151	1,458	1,201	7.6	26.7	-17.7	2.2	-1.6
日高	393	465	290	335	326	2.1	15.7	-2.7	0.3	-0.1
渡島	956	1,062	975	1,126	1,169	7.4	15.5	3.8	1.1	0.3
檜山	179	184	233	273	246	1.6	17.2	-9.8	0.3	-0.2
上川	1,391	1,426	1,219	1,262	1,325	8.4	3.5	5.0	0.3	0.4
留萌	244	225	242	244	294	1.9	0.8	20.1	0.0	0.3
宗谷	334	296	311	344	367	2.3	10.7	6.7	0.2	0.1
オホーツク	970	991	840	851	937	5.9	1.3	10.1	0.1	0.5
十勝	1,120	1,297	1,014	1,144	1,005	6.4	12.9	-12.1	0.9	-0.9
釧路	663	620	679	760	681	4.3	11.9	-10.4	0.6	-0.5
根室	363	335	325	384	334	2.1	18.2	-12.9	0.4	-0.3
全道	14,565	15,420	14,188	16,146	15,804	100.0	13.8	-2.1	13.8	-2.1

建設業の全道シェア(令和2年度)



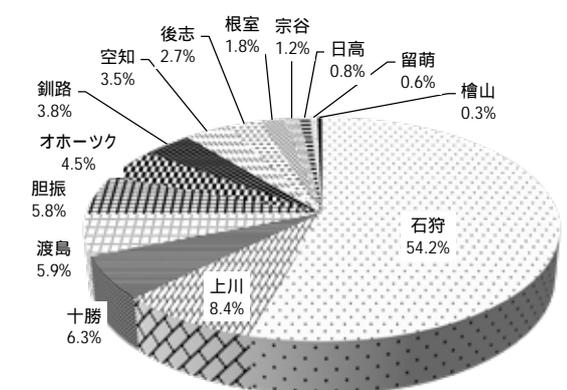
卸売・小売業

- 振興局別総生産は、石狩が1兆4,167億円で最も多く、全体の54.2%を占め、次いで上川2,196億円、十勝1,644億円、渡島1,534億円、胆振1,527億円と上位5振興局で2兆1,068億円、全体の80.7%を占めた。
- 全道増加率（5.7%）に対する寄与度をみると、石狩（3.3%）、上川（0.4%）など全ての振興局でマイナスとなった。

卸売・小売業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R2 (2020) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020		R1 2019	R2 2020	R1 2019	R2 2020
	空知	977	997	979	966		924	3.5	-1.4	-4.4
石狩	14,905	15,427	15,427	15,069	14,167	54.2	-2.3	-6.0	-1.3	-3.3
後志	779	787	767	747	705	2.7	-2.6	-5.7	-0.1	-0.2
胆振	1,634	1,671	1,648	1,614	1,527	5.8	-2.1	-5.4	-0.1	-0.3
日高	234	235	226	219	206	0.8	-3.0	-5.9	-0.0	-0.0
渡島	1,674	1,703	1,670	1,628	1,534	5.9	-2.5	-5.8	-0.1	-0.3
檜山	92	93	91	90	87	0.3	-1.1	-4.0	-0.0	-0.0
上川	2,355	2,403	2,365	2,317	2,196	8.4	-2.0	-5.2	-0.2	-0.4
留萌	178	179	173	167	157	0.6	-3.1	-6.1	-0.0	-0.0
宗谷	372	374	362	349	326	1.2	-3.5	-6.6	-0.0	-0.1
オホーツク	1,290	1,310	1,281	1,250	1,181	4.5	-2.4	-5.5	-0.1	-0.3
十勝	1,742	1,784	1,762	1,731	1,644	6.3	-1.8	-5.0	-0.1	-0.3
釧路	1,079	1,098	1,078	1,050	988	3.8	-2.6	-5.9	-0.1	-0.2
根室	499	512	507	499	476	1.8	-1.5	-4.7	-0.0	-0.1
全道	27,809	28,573	28,336	27,697	26,117	100.0	-2.3	-5.7	-2.3	-5.7

卸売・小売業の全道シェア(令和2年度)



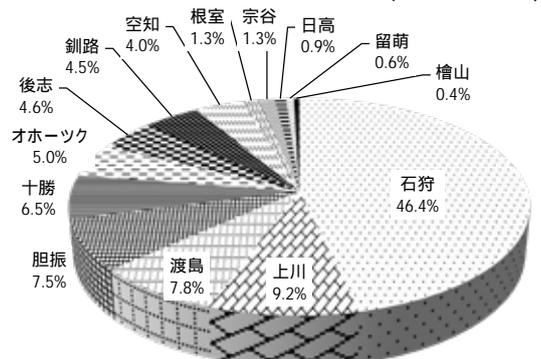
宿泊・飲食サービス業

- 振興局別にみると、石狩が1,419億円で最も多く、全体の46.4%を占め、次いで上川281億円、渡島239億円、胆振230億円、十勝200億円と上位5振興局で2,369億円、全体の77.4%を占めた。
- 全道増加率（42.1%）に対する寄与度をみると、石狩（16.8%）、上川（4.2%）、渡島（3.8%）など全ての振興局でマイナスとなった。

宿泊・飲食サービス業の振興局別総生産(単位:億円、%)

振興局	実数					R2 (2020) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020		R1 2019	R2 2020	R1 2019	R2 2020
	空知	217	221	222	203		121	4.0	-8.5	-40.4
石狩	2,260	2,367	2,450	2,309	1,419	46.4	-5.8	-38.5	-2.5	-16.8
後志	291	300	302	281	142	4.6	-7.0	-49.5	-0.4	-2.6
胆振	441	454	460	427	230	7.5	-7.1	-46.1	-0.6	-3.7
日高	54	56	56	52	28	0.9	-7.2	-46.4	-0.1	-0.5
渡島	459	471	474	437	239	7.8	-7.7	-45.4	-0.6	-3.8
檜山	30	30	29	27	13	0.4	-9.1	-51.1	-0.0	-0.3
上川	516	532	540	502	281	9.2	-7.1	-44.1	-0.7	-4.2
留萌	40	40	40	37	19	0.6	-8.8	-47.4	-0.1	-0.3
宗谷	86	88	88	80	39	1.3	-8.1	-51.8	-0.1	-0.8
オホーツク	284	292	296	275	152	5.0	-7.2	-44.6	-0.4	-2.3
十勝	355	367	373	347	200	6.5	-6.9	-42.5	-0.5	-2.8
釧路	247	254	258	239	137	4.5	-7.3	-42.8	-0.3	-1.9
根室	74	76	77	71	39	1.3	-7.5	-45.1	-0.1	-0.6
全道	5,354	5,547	5,666	5,287	3,059	100.0	-6.7	-42.1	-6.7	-42.1

宿泊・飲食サービス業の全道シェア(令和2年度)



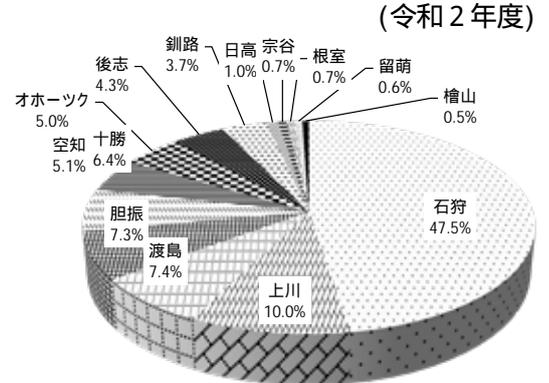
保健衛生・社会事業

- ・ 振興局別にみると、石狩が1兆652億円で最も多く、全体の47.5%を占め、次いで上川2,235億円、渡島1,668億円、胆振1,628億円、十勝1,428億円と上位5振興局で1兆7,611億円、全体の78.5%を占めた。
- ・ 全道増加率(0.6%)に対する寄与度をみると、宗谷、檜山など5振興局(各0.0%)でプラスとなり、石狩(0.3%)、胆振、渡島、釧路(各0.1%)など9振興局でマイナスとなった。

保健衛生・社会事業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

保健衛生・社会事業の全道シェア

振興局	実数					R2 (2020) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020		R1 2019	R2 2020	R1 2019	R2 2020
空知	1,135	1,120	1,124	1,140	1,137	5.1	1.4	-0.3	0.1	-0.0
石狩	10,086	10,144	10,369	10,720	10,652	47.5	3.4	-0.6	1.6	-0.3
後志	941	932	941	968	965	4.3	2.9	-0.3	0.1	-0.0
胆振	1,656	1,631	1,631	1,654	1,628	7.3	1.4	-1.6	0.1	-0.1
日高	224	219	216	218	216	1.0	0.6	-0.9	0.0	-0.0
渡島	1,699	1,674	1,673	1,696	1,668	7.4	1.4	-1.7	0.1	-0.1
檜山	116	115	115	118	121	0.5	2.1	2.8	0.0	0.0
上川	2,188	2,172	2,196	2,245	2,235	10.0	2.3	-0.5	0.2	-0.0
留萌	138	138	138	140	142	0.6	1.6	1.2	0.0	0.0
宗谷	146	144	144	147	152	0.7	1.8	3.3	0.0	0.0
オホーツク	1,092	1,087	1,093	1,116	1,113	5.0	2.1	-0.2	0.1	-0.0
十勝	1,354	1,359	1,368	1,420	1,428	6.4	3.8	0.6	0.2	0.0
釧路	876	858	851	855	838	3.7	0.5	-2.1	0.0	-0.1
根室	154	151	149	149	151	0.7	0.6	1.0	0.0	0.0
全道	21,806	21,744	22,007	22,586	22,443	100.0	2.6	-0.6	2.6	-0.6



(3) 振興局別総生産の主な増減項目

振興局	総生産(億円)		対前年度 増加率 (%)	総生産の主な増減項目
	R1 2019	R2 2020		
空知	9,517	9,074	-4.7	建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したが、運輸・郵便業や製造業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
石狩	95,869	91,624	-4.4	電気・ガス・水道・廃棄物処理業や情報通信業などで増加したが、運輸・郵便業や卸売・小売業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
後志	7,374	7,156	-2.9	建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したが、宿泊・飲食サービス業や運輸・郵便業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
胆振	17,642	17,093	-3.1	製造業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したが、建設業や運輸・郵便業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
日高	2,411	2,433	0.9	宿泊・飲食サービス業や卸売・小売業などで減少したが、製造業や農業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
渡島	12,975	12,584	-3.0	製造業や建設業などで増加したが、運輸・郵便業や宿泊・飲食サービス業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
檜山	1,236	1,173	-5.1	保健衛生・社会事業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したが、建設業や宿泊・飲食サービス業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
上川	16,983	16,223	-4.5	建設業や教育などで増加したが、宿泊・飲食サービス業や運輸・郵便業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
留萌	1,596	1,600	0.3	宿泊・飲食サービス業や運輸・郵便業などで減少したが、建設業や製造業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
宗谷	2,952	2,760	-6.5	建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したが、水産業や宿泊・飲食サービス業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
オホーツク	10,621	10,295	-3.1	建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したが、宿泊・飲食サービス業や運輸・郵便業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
十勝	13,803	13,211	-4.3	電気・ガス・水道・廃棄物処理業や保健衛生・社会事業などで増加したが、宿泊・飲食サービス業や建設業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
釧路	8,838	8,423	-4.7	電気・ガス・水道・廃棄物処理業や農業などで増加したが、運輸・郵便業や宿泊・飲食サービス業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
根室	3,800	3,606	-5.1	電気・ガス・水道・廃棄物処理業や保健衛生・社会事業などで増加したが、建設業や水産業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。